

森村泰昌映像作品上映会

「8つの動く“モリムラ”」

☆本展のための特別プログラム。各作品上映前に森村泰昌氏自身によるミニ解説(音声)があります。

日時：2020年3月21(土)、22日(日)、23日(月)

10:00～／12:00～／15:00～ ＊各回10分前開場、上映時間約100分

会場：富山県美術館3階ホール(約80名)

＊本上映会の聴講は無料です。ホール開場は、それぞれ上演開始の10分前です。

＊入場の際に、企画展「森村泰昌のあそぶ美術史」展のチケットをご提示ください。

＊本上映がご覧になれる場所(ホール、図書コーナー)での、飲食、録音・撮影などはできません。予めご了承ください。(当館の記録として腕章をした係員が写真撮影する場合があります。)

上映作品【8つの動く“モリムラ”】

- 1.『銃を持つ私／ウォーフォールに捧げる』1998年
- 2.『星男』1991年
- 3.『フリーダとの対話3』(抜粋) 2001年
- 4.『劇場としての私』2002年
- 5.『炎のピアニスト』川崎市民ミュージアムにて 2002年
- 6.『振り向く鏡』(再編集版) 2019年
7. エゴのシンポジオンより『ゴッホ』2017年
- 8.『海の幸・戦場の頂上の旗』2010年(当館蔵) ☆全回同じ内容を上映します。途中入退場可能。



森村泰昌(もりむら やすまさ) / 美術家

略歴:1951年大阪市生まれ。1985年、ゴッホの自画像に扮するセルフポートレイト写真を制作。以降、今日に至るまで、一貫して「自画像的作品」をテーマに作品を作り続ける。90年代より国内外で展覧会を開催する美術家。主な国内での個展に、「美に至る病／女優になった私」(横浜美術館1996年)、「空想美術館／絵画になった私」(東京都現代美術館他1998年)、「なにものかへのレクイエム／戦場の頂上の芸術」(東京都写真美術館他2010年)。近年では、2016年に国立国際美術館、2017年にプーシキン美術館(モスクワ)で個展開催。大阪に個人美術館「M@M(モリムラ@ミュージアム)」開館。2020年1月25日より原美術館にて「森村泰昌：エゴオブスクラ 東京2020—さまよえるニッポンの私」(4月12日まで)開催。文筆の仕事も多く、近著『たいせつなわすれもの』2014年、平凡社、『自画像のゆくえ』(2019年、光文社新書)。2011年紫綬褒章を受章。当館企画展「森村泰昌のあそぶ美術史—ほんきであそぶとせいかいはわかる」ではゲストキュレーターを務める。

○問い合わせ

富山県美術館 TEL 076-431-2711/FAX 076-431-2712

<https://tad-toyama.jp/>



富山県美術館
Toyama Prefectural
Museum of Art & Design